

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 回覧板で、近くの“ぬくもりの里”でカラオケ大会が開催されることを知り、歌の好きな利用者2名が職員と共に見物に行った。 ホーム周辺は山や畑で囲まれており、近隣農家からは取れ立ての野菜の際入れがある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1回、偶数月に運営推進会議を開催している。 家族代表、市の担当者、地域包括支援センター職員、民生委員、隣近所の住民等々、多彩なメンバーが集る。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政に対する質問や相談のために市役所を訪ねることはまれで、運営推進会議に市の担当者が出席したときに質問している。 実地指導があり、新人管理者の勤務体制についてのアドバイスを受け、ホーム運営に活かした。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「悠遊荘だより」は季刊であることから、それを補完する目的で、請求書送付時に職員が利用者の様子を一筆書き加えて情報提供している。 家族会を開催したところ、3家族が「朝」、「昼」、「夕方」とバラバラに集まった。 全体会議はできなかったが、それぞれの家族が職員との密なコミュニケーションを図ることが出来た。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				